

人は自己利益の実現、意見の強要のために頻りに力行使するものです。歴史は、すべての種類の宗教、さまざまな党派に帰属する人たちによって行われてきたそのような実例であふれています。たとえば、新しい世界に探検家たちや移住者たちが到着したとき、原住民にたいして恐ろしい民族浄化が行われたことを歴史は証言します。スペイン出身のカトリック司祭バルトロメはその虐殺を目撃した後、その様子をこのような言葉で表現しました。

「彼らは、原住民を人間とみなしていなかった。いや、むしろ動物以下の存在とみなしていたのである!!」

インディアスの破壊についての簡潔な報告
バルトロメ・デ・ラス・カサス

どのようにしてイスラームは様々な国々に
到来したか見てみましょう。

JAPANESE

人々は イスラームに改宗 することを 強要されましたか？

何が人々を

イスラームについて学ぶことへと
促すのでしょうか？



LAUNCHING
CURIOSITY
JUST SCAN IT!!



THIS IS
ISLAM

世界文明の中心地アンダルス (イベリア半島)

エジプトの征服と救済

世界で最も少数派ムスリムの 多い国インド

インドネシアという今日 もっともムスリム人口の多い国



ムスリムたちは711年から1492年のまでの781年間アンダルス(スペイン)を統治していました。アンダルスは世界文明の中心地でもあり、そこではキリスト教徒の誰もイスラームへの入信を強制されませんでした。むしろ、彼らの権利は保護され商売は繁盛し国のなかにある彼らの施設は保護されました。そして、ムスリムたちはイスラームの支配以前に迫害されていたユダヤ人に対する不正を取り払いました。ところがスペインにおいてイザベラとフェルナンドスがムスリムたちに勝利した途端、すべてのイスラーム的物事が禁じられ、尋問のための裁判所が設立されました。イスラームを信仰していると判断された人は、信仰を隠していても罰せられました。それにより、ムスリムたちは家々から追放されたのですが、ユダヤ人たちも追い出されムスリムたちと行動を共にしたことは注意を引くことです。彼らは安住の地、良い暮らしをイスラームの支配地域に見出しムスリムたちと行動を共にしたのです。

ムスリムたちはエジプトをイスラーム初期から統治していました。アッラーの使徒の教友アムル・イブン・アルアースはエジプトを征服し、彼らの宗教や神聖視するものを保護するだけに留まらず、宗派の違いを理由にローマがおこなってきた不正や虐待、搾取から救いました。そのときからコプト教徒たちに宗教と崇拝の自由が戻ったのです。今日500万人超のコプト教徒がいます。

ムスリムたちは1000年近くインド亜大陸を統治していました。さまざまな宗教の信奉者たちの権利と宗教儀礼を保護し、迫害されていた宗教の信者たちに対する不正を払拭しました。すべての歴史家たちは、イスラームが暴力で広まったわけではないことを強調しています。誰一人強制的に入信させられていませんし、さまざまな宗教と宗教施設はそのまま残ったのです。今日インドのムスリム人口は、1億8千9百万人にも上ります。

世界で最も多くのムスリム人口を有する国はインドネシアです。そこに住む人々の数は2億5千万人を超えていて、そのうちのムスリムの割合は87パーセントに達します。ヒジュラ暦の6世紀、商人たちの優れた人格を通してイスラームは広まりました。ポルトガル植民地主義の軍隊、それからオランダの軍隊、イギリスの軍隊が到着するまでは、たった一つの軍隊も派遣されることなく血が流されることもありませんでした。インドネシアのムスリムたちは、数世紀を通して彼らの宗教に堅固であり続けました。なぜなら、彼らは宗教を自ら納得し選択し受け入れていたからです。そして、今日インドネシアには数千のイスラーム学校があり、何万もの男子学生たち、女学生たちがそこで学んでいます。

